

新たに「グローバル人材育成講座」を開講しました！

神戸市外国語大学とグローバルに活躍するメットライフ生命保険株式会社が2022年度より新たにスタートさせた「グローバル人材育成講座」が、10月～12月にかけて計3回開催されました。

講師には各回ごとに、メットライフ生命の執行役員をはじめ、最前線で活躍される方々を迎え、参加した約30人の学生と意見を交わしたり、クイズ形式を取り入れたりとコミュニケーションをとりながら講義がおこなわれました。2023年度も引き続き、メットライフ生命と協力し、新しい講座の開講など人材育成に取り組めます。



メットライフ生命 × 神戸市外国語大学



2022年度魅力発信事業 講演会開催報告

『神戸発！場をつくる－Cultureの芽を育てるために－』

神戸を拠点に活躍されている講師の日常や経験から、人と人との繋がり大切さや場づくりについて講演いただきました。

- 第1回 7月28日(木曜) 「神戸からローカル地産地消経済をつくる」小泉 寛明 氏
- 第2回 9月29日(木曜) 「まち、田畑、こころを耕し、たねを蒔こう！」小泉 亜由美 氏
- 第3回 11月24日(木曜) 「街の憩いの場所として」大橋 崇博 氏
- 第4回 12月22日(木曜) 「ちいさなまちのあそびかた」森本 アリ 氏
- 第5回 1月26日(木曜) 「子育て中のおとなの、まち・ひととの関わりを考える」佳山 奈央 氏



視聴者からの感想

現在は企業や日常生活においても効率化を求めるあまり、人と人との繋がりが希薄になっており、何においても機械的だなと感じることが多かったのですが、今回の講演会を聞いてやはり人と人との繋がりを大切にすることが信頼にもつながっていくんだなと思いました。

町に住む方々の心の距離感に驚きました。身近な人とコミュニケーションを日常的にとる機会がすごく少なくなってきていると感じ、はっとしました。「新しいものを作らない」という言葉が印象的で、今を生きる私たちのこれからの思うと、とても前向きな考え方だと思いました。新しいものは時間が経つと塗り替えられてしまうので、何を大切に生きていきたいのかを考えると、今までを振り返ることをもっと大切にしていきたいと思います。

『名訳・迷訳 — 翻訳のたのしみ』

2人の神戸市外国語大学客員教授による講演会を開催しました。講演会には対面・オンラインあわせて約430人が参加しました。2人の作品を取り入れながら、原作の良さを生かすも殺すも翻訳次第であると解説しました。

10月21日(金曜) 柴田元幸客員教授×きたむらさとし客員教授



2022年度魅力発信事業講演会のアーカイブは下記よりご覧いただけます。

https://www.kobe-cufs.ac.jp/about/_2022.html

